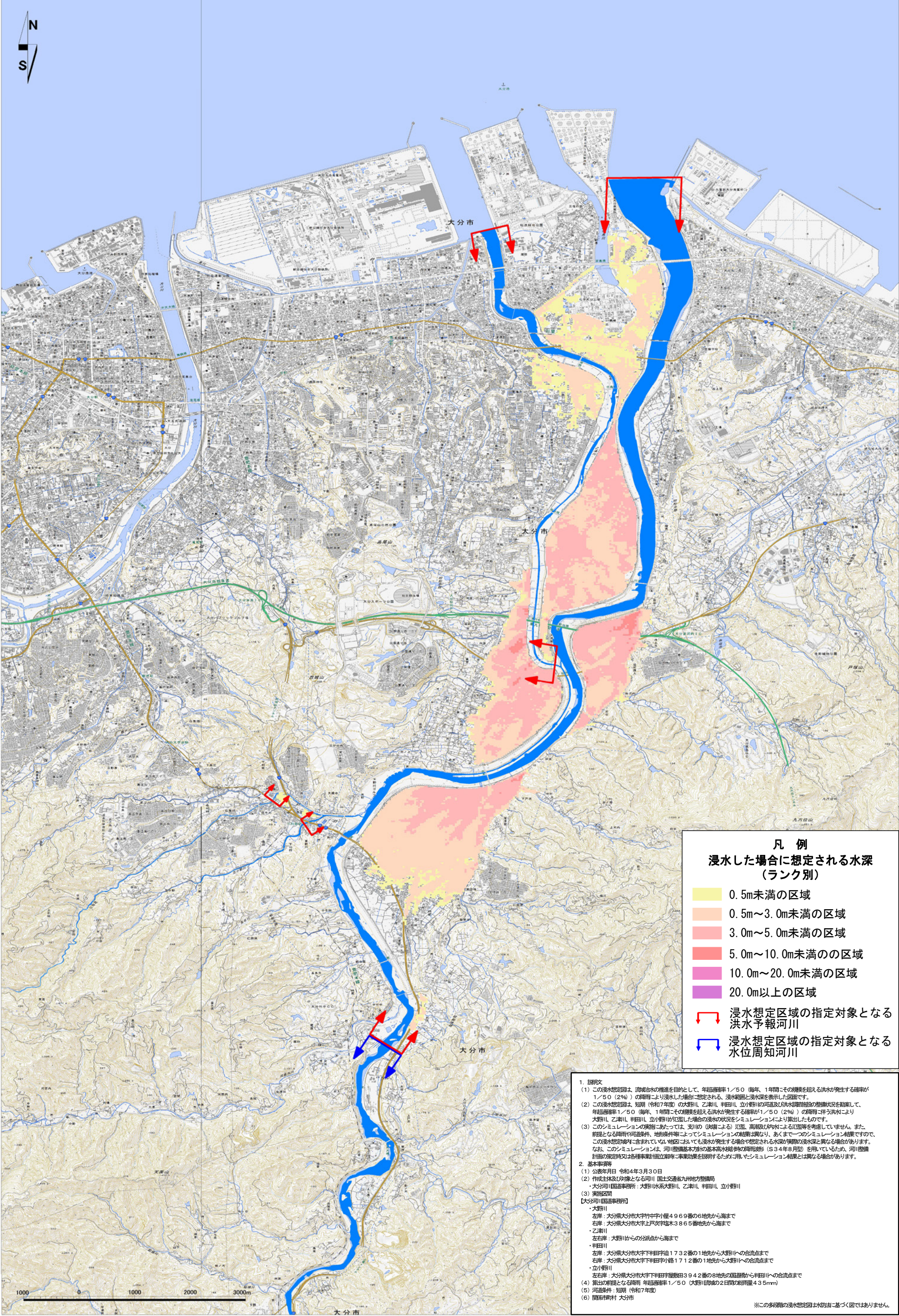


大野川水系 国管理河川の浸水想定図（1／50規模降雨）
【短期河道】



凡 例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

浸水想定区域の指定対象となる
洪水予報河川

浸水想定区域の指定対象となる
水位周知河川

1. 説明文
(1) この浸水想定図は、河川治水の推進を目的として、年超過確率1/50（毎年、1年間この規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
(2) この浸水想定図は、短期（令和7年度）の大野川、乙津川、判田川、立小野川河川及び河川敷周辺の整備状況を踏まえて、年超過確率1/50（毎年、1年間この規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に準ずる洪水により大野川、乙津川、判田川、立小野川の河川敷に想定される浸水範囲と浸水深をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの算出にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高水位内水による氾濫等を考慮していません。また、前記となる降雨や河川条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図に含まれていない地域においても浸水が発生する場合や想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水維持率の算出（S34年8月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
(1) 公表年月日 令和4年3月30日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・大分河川国庫事務所：大野川水系大野川、乙津川、判田川、立小野川
(3) 実施期間
【大分河川国庫事務所】
・大野川
左岸：大分県大分市大字下判田字小野4969番の6地先から海まで
右岸：大分県大分市大字上判田字小野3865番地先から海まで
・乙津川
左右岸：大野川からの分岐点から海まで
・判田川
左岸：大分県大分市大字下判田字小野1732番の1地先から大野川への合流点まで
右岸：大分県大分市大字下判田字小野1712番の1地先から大野川への合流点まで
・立小野川
左右岸：大分県大分市大字下判田字小野3942番の8地先の国庫跡から判田川への合流点まで
(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/50（大野川河川の2日間の総雨量43.5mm）
(5) 河道条件：短期（令和7年度）
(6) 関係町村 大分市

※この多段階の浸水想定図は防犯に基づく図ではありません。